清明学園同窓会 トンボ通信

第7号

『学園の今・・・』

清明学園理事長　浅野　輝一

同窓会会員の皆様、如何お過ごしですか。学園の子どもたちは、約四年間という長きにわたるコロナ感染の影響により、学園での生活や学習面で大きな爪痕を残すことになりました。

第一には、学校行事への打撃でした。私は常々、「全ての学校行事の中でこそ、子どもの著しい成長がある。」と強く実感しております。中でも創立者濱野重郎先生が残された清明教育の本質は、北軽井沢にあります。「山の学校」での「自主独立の精神」は、経験した全ての子どもたちに大きな力を与えてきています。

コロナ禍が収束した令和五年度から学校行事をコロナ前に戻し、濱野教育の実践を進めてまいりました。

特に「山の学校」には、大きな力を注いできました。先ずは、四年間使用できずに放置されてきた「山の学校」のリフォームに取り組みました。浴場、トイレ、寝室、食堂はもちろん、細かい調度品に至るまで、子どもたちが気持ちよく学習し、生活できる環境を精一杯整えました。子どもたちは新しい環境に大満足の様子でした。

コロナ禍では、同窓会の皆様にも、多大なるご尽力を頂きました。九十周年記念行事へのお力添え、清明教育の充実のためリモートの設備、子どもたちへのタブレット購入の援助、理科教育推進のための設備、器具、図書室の充実など、数々の助成を頂きました。この紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

『第２回トンボ会にむけて』

同窓会会長　藤井　俊一

「濱野重郎先生が「朝礼台」の上から生徒と共に朗々と唱われた、明治天皇の御製「もろともにたすけ交わしてむつびあふ　友ぞ世に立つ力なるべき」は当に我ら同窓会の目指す精神（清明学園 is for ever）であります。（中学校校歌の二番は「もろともに助け交わして睦びあう」と始まります）。

トンボっ子の我ら学園は、重郎先生が１９３０年に清明学園を創立され爾来90年強の歴史の中で、６千人の卒業生を送り出した歴代の恩師そして現役の先生達の学園でもあります。そして、これから学び、巣立つ子供達の学園でもあります。

一時代をお預かりしている私達現同窓会は、濱野冨美子先生のご意志により２０１７年４月１日に再発足し、同年11月19日に「第１回トンボ会同窓会」を学園講堂にて先生・在校生のご協力の下１６５名の卒業生が集合し、重郎先生が嘗て朝礼台で謳われ、且つ望まれた同窓会をリアルで有意義に開催することが出来ました。

第２回トンボ会は２年前に開催する予定でしたが、残念ながらコロナ禍で延期となっておりました。本年５月にコロナの位置づけが緩和され、２類から５類に移行致しました。それに伴い、学園・同窓会役員会で数回打合せを重ね、漸く本年11月19日（日）に第２回を開催することになりました。

重郎先生曰く「清明で発芽し、清明で成長した者が、卒業年次の新旧を問わず、互いに確り手を取り合い、先輩は先達となり後輩は兄事して、互いに磨き合うことは麗しくも尊いことだと思う」と同窓会の有意義性を語っておりました。

時間と空間を超えて重郎先生が、今に生きているのは我々卒業生の幸運です。11月19日に世代を超えてリアルの語り合いを致しましょう。あと約一ヶ月、皆様のご参加を心より待ちしております。

『コロナ禍のＩＣＴ教育』

初等学校校長　横山　豊治

令和五年度の始まりは、五月八日に新型コロナ感染症が五類に移行されることを踏まえ、すべて対面で四年ぶり完全復活の学校生活スタートとなりました。

四月五日清明の日、新一年生は舞台上に全員上がり、まだ着なれない制服でのお披露目となりました。在校生もいつものように全員出席し全校でかわいい一年生を大歓迎でお迎えしました。同窓会からも橋本副会長、千葉理事のご臨席を賜り、やっとコロナ禍を脱出したいつものような清明学園らしい入学式を行うことができました。

学校生活はすべて通常に戻り、一年生独特の六角形向かい合わせの机での学習も、他学年のグループ形態での協同学習も復活し、子どもたちは今までのことがなかったかのようにごく自然に楽しく過ごしています。

夏の宿泊行事もすべて通常に戻り、四年生海の学校は、初めて静岡県戸田で海の体験をし、静かなきれいな海でたくさん泳いで自然を満喫しました。また、三年生と五年生は、大幅に改修された浅間寮で本来の山の学校を行うことができました。男女ともお風呂を全面改修し、その他女子のトイレの改修と女子部屋をすべてベッドに改修し、本当に快適な浅間寮での山の学校となりました。子どもたちは大自然の中で、お互いに助け合いの生活をし、また自然の素晴らしさを肌身で感じていたと思います。

二学期は清明祭、運動会、アプリコ舞台発表会と行事続きです。一部コロナ対応も残りますが、子どもたちの学びを止めないという姿勢で、清明らしい教育活動を続けてまいります。

最後にこの場をお借りし、同窓会様からの厚いご支援に心より感謝申し上げます

『中等部のオンライン学習』

中学校校長　鈴木　敏弘

三年以上続いたコロナ禍もようやく収束に向かい、四月六日に行われた中等部新入生を迎える会も、四年振りに全校生徒と新入生保護者全員が参加することができました。

四月の全校歓迎遠足も好天に恵まれ、平和島の体育館とアスレチック施設を利用して、異学年との縦割りの交流を深めることができました。

五月の体育祭も、人工芝に張り替えられた新しい中等部グラウンドで、全校一斉開催することができました。

夏期宿泊行事もようやく本来の形に戻りました。戸田海岸での六・八年海の学校も、青空の下で予定通りの練習が進められ、魚等を間近で見ながら、自然に親しむことができました。山の自然に親しむ七年山の学校も四年振りに、北軽井沢の浅間寮で実施できました。

《次ページへ》

令和５年10月
発行元
清明学園 同窓会
〒145-0066
大田区南雪谷３丁目12-26
学校法人　清明学園内
会長　藤井俊一
発行人　小原秀之

同窓会 QRコード

メールアドレス登録用
seimei.dousoukai@gmail.com

メールアドレスの登録にご協力ください

ホームページ
https://www.seimei-dousoukai.com

《前ページから》

浅間寮の大改装で、風呂や部屋等が一新され、大変快適に過ごすことができました。

九年生の山の学校は、七泊八日の長丁場ですが、温水トイレや大広間のエアコン設置などのおかげで、体調管理がしやすく、集中して学習に取り組むことができました。九年生の自ら計画し自ら学ぶ自発学習の、これからの成果が楽しみです。

今後も同窓会や後援会の皆様のお力添えを頂きながら、子どもに寄り添う清明教育のさらなる発展を目指して、日々挑戦してまいります。

『新しい出発』

幼稚園園長　佐々木ひとみ

コロナ感染症の流行から2年以上が経過。今年度は、さまざまな感染対策をとりながら、できる限りの制限をなくす生活が始まりました。

大きな違いのひとつとして、マスク着用の任意です。子どもたちの声がこもることなく、元気な声が響き渡る喜び、口元の動きで分かり合える喜び、顔全体の動き・表情を汲み取ることができる喜び、心からあふれる笑顔を見ることができる喜び…嬉しくてたまりません。マスクの下の表情を探りながら子どもたちとやりとりしていた時間があったからこそ、感じることができた気持ちだと思っています。

子どもたちは、どのような環境にも円滑に順応し、自分らしさを表現しながら成長しています。その姿にたくましさを感じます。

現在、行事や活動、日々の保育において可能性が広がり、できることが増えてきました。恐れず、挑戦し続けることの大切さを再認識しています。常に、子どもたちが何を求めているか心の中を覗きながら、子どもとともに保育を作っていきたいと思います。

祝とんぼっこ合唱団

初等部音楽科教諭　関田智也

「TBSこども音楽コンクール横浜地区大会」優秀賞

「NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール予選」金賞（本選出場）

合唱団が、二つのコンクールで入賞しました。一つ目は、7月25日に行われた「令和5年度TBSこども音楽コンクール横浜地区大会」で優秀賞を、二つ目は、7月31日に行われた「第90回NHK全国学校音楽コンクール東京都コンクール予選・A」で金賞を受賞しました。NHKのコンクールでは、8月9日に行われた本選へ進むことができました。これまで応援してくださったみなさまへ感謝をお伝えします。

とんぼっこ合唱団は、歌うのが好きな四・六年生が集まって活動している有志の合唱団です。休み時間を利用して、子どもそれぞれの目標に向かい、歌っています。これからも明るく元気に歌っていきます。引き続き、合唱団への温かい応援をよろしくお願いします。

もし様々な場所で歌わせていただける機会がありましたら、学園へご連絡ください。

ソフトテニス全国大会入賞

中等部顧問　高橋茂

令和5年度に愛媛県で行われた、第54回全国中学校ソフトテニス大会男子団体戦にて、入賞という成績を収め、栃木県で行われた関東大会では、男子個人戦・団体戦共に優勝という成績を修めることができました。

全国大会では、昨年の悔しさを払拭するため奮闘を続けましたが、本年度優勝校に惜しくも敗れました。女子は関東大会に進出し、あと一歩のところで全国大会出場を逃してしまいました。

来年は男女ともに高い目標をもって、更に精進して参ります。

第2回とんぼ会のお知らせ

◆開催日時　令和5年11月19日（日曜日）午前10時30分

◆開催場所　清明学園講堂

◆開催内容

1部　式典　10時30分

《在校生による清明太鼓の演技・合唱等》

2部　懇親会　12時30分～14時

《卒業生によるコンサート等》

詳しくは同封の「第2回清明トンボ会開催のお知らせ」をお読み下さい

清明トンボ会に多くの卒業生のご参加をお待ちしています。

ご不明な点がございましたら、清明学園同窓会HPをご覧いただくか、E-mail(seimei.dousouk.ai@gmail.com)までお問合せ下さい。

リニューアルされた山の学校「浅間寮」

令和４年度決算報告

〔収入の部〕	
運営会費	1,436,000
トンボ会参加費	0
新卒者入会金	222,000
その他	34
収入合計	1,658,034

〔支出の部〕	
会議費	6,970
トンボ会費用	0
清明祭費用	0
広報費(HP他)	128,920
通信・印刷費	856,303
消耗品費・他	87,181
当期収支差額	578,660
支出合計	1,658,034

〔繰越金の部〕	
前期繰越金	7,538,227
当期収支差額	578,660
翌期繰越金	8,116,887
〔財産目録〕	
現金	0
三井住友銀行 普通	3,489,032
ゆうちょ銀行　振替	4,627,855
合計	8,116,887